

- ◇耐震改修にかかる工事費等を補助……………2面
- ◇上下水道特集……………3面
- ◇市営住宅の住み替え入居者募集……………4面
- ◇西宮市展の作品募集……………4面
- ◇公民館特集……………5面
- ◇みやたんのイラスト使用の申請等について……………8面

●発行(毎月10・25日)／西宮市役所：〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>  
 ●編集／政策局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo\_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



# 上手に電力使いまちづくり

地球温暖化の進行や東日本大震災と福島第一原子力発電所事故を受けて、私たちは今後のエネルギーの在り方や一人ひとりのライフスタイルを見直していかなければなりません。

そこで、市は、持続可能なまちづくりを進め、西宮の豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくために、このたび「西宮市再生可能エネルギー・省エネルギー推進計画(以下、計画)」を策定しました。電力等のエネルギー需給を最適化する「スマートコミュニティ・西宮」の形成を目指して、今後のエネルギー政策の方向性などをお知らせします。問合せは環境・エネルギー推進課(0798・35・3818)へ。

### 本市の状況

温室効果ガス排出量など  
地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量は、市全

再生可能エネルギーなどの積極的な導入  
☆太陽光発電設備など再生可能エネルギー設備の導入 など



# 再生可能エネルギー 省エネルギーを推進

スマートコミュニティに向けた目標と主な取り組み

### ＜基本方針1＞

#### エネルギー総量の抑制と削減

- ☆住宅等でのエネルギー使用量の「見える化」などの推進
- ☆省エネルギー設備等の導入
- ☆建物の屋上・壁面緑化の促進 など



### ＜基本方針2＞

#### 再生可能エネルギーなどの積極的な導入

☆太陽光発電設備など再生可能エネルギー設備の導入 など



### 平成32年度までの目標 22年度比

- 1 市域の電力消費量を10%以上削減  
※電力だけでなく全てのエネルギー消費量の削減も推進
- 2 市域の再生可能エネルギーなどの発電電力量を2倍以上に

### ＜基本方針3＞

#### 低炭素なまちづくりとエネルギーセキュリティの向上

- ☆公共交通機関の積極的な利用や自転車走行環境の確保
- ☆災害時を見据えた蓄電池、電気自動車の導入 など



### ＜基本方針4＞

#### 市民や事業者、行政等の連携した取り組みの推進

- ☆エココミュニティ会議や地域の省エネルギー促進活動などへの協働と支援 など



住宅のエコ・サポート  
メニュー拡充  
平成26年度は、これまでの住宅用太陽光発電システム設置補助事業を拡充し、「エコ・エネルギー設備導入促進補助事業」として、補助対象を太陽光発電システム以外に、燃料電池や電気自動車の導入などに広げます。詳細は決まり次第、本紙等でお知らせします。

### 住宅のエコ・サポート メニュー拡充

スマートコミュニティを現実していくために、計画ではエネルギー総量の抑制と再生可能エネルギーの導入の観点から、2つの目標を設定しました。2つの目標を設定した。左上図参照。

### 市民・事業者・行政 力合わせ取り組み

目標の達成に向けて、計画では4つの基本方針(左上図参照)を定め、具体的な取り組みを示していますので、市民・事業者・行政等それぞれの立場で自ら実行できるものから取り組みましょう。例えば、市民は、エアコンの適温設定などライフスタイルを見直すことが大切です。事業者は、高効率の設備等の導入などに取り組み、地域社会に貢献することが大切です。市などの行政機関は、スマートコミュニティの構築に向けた具体的なまちづくりの指針を示すとともに、太陽光発電施設整備などへの助成制度の拡充など市民や事業者の取り組みを支援します。また、電気自動車の導入など自らも率先した行動を進めます。

## 退任にあたって

西宮市長 河野昌弘



私は平成22年5月16日より西宮市長に就任いたしました。5月15日、1期4年の任期を終え、退任することになりましたので、市民の皆様へご挨拶申し上げます。

私は、市長任期中、西宮の輝かしい文藝祭典を開催できたことを誇りに思っております。この伝統を受け継ぎながら、新しい時代に飛躍するための基盤をしっかりと整えることを目指してまいりました。中でも子どもたちの健全な育成は大切な課題であり、育児支援や幼稚園での保護者負担の公私間格差の解消に力を注いでまいりました。特に保育所持児童を2年連続ゼロにできたことは、全国的にも素晴らしい成果だと思っております。今後とも子育て支援の取り組みは必要と考えています。また、これまでお世話になった皆様に対する感謝の気持ちで一杯です。今後、本市が誰もが住みやすい、住み続けたいと願うまち、ひととき魅力が放つまちとして、さらに大きく飛躍していくことを願ってやみません。結び、市民の皆様へ改めて深く感謝を申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

の支援のため、先進的な取り組みとなる児童発達支援センターを市の中核施設として整備を進めてまいりました。さらに、東日本大震災の教訓から、市民の生命・財産を大規模災害から守ることが市長としての最大の使命だと考え、市民の皆様のご協力をいただき大規模な津波避難訓練を実施しました。国や県から市内の防潮堤の強化の確約をいただき、学校の耐震化もほぼ終わることができました。しかし何と云っても、アサヒビル西宮工場の撤退による広大な跡地活用が大きな課題でした。民間主導の開発では、大規模なマンションや商業施設ができるなど、悪い影響が心配されることから、市が積極的に関与することとなりました。計画では、耐震性が劣ったり、老朽化により大規模な補修が必要な中央体育館、中央病院、西宮消防署を移転し、多目的防災公園も整備して、スポーツ施設の充実と南部地域の防災力の向上を図ることとしておりましたが、市長選挙の結果この実現が難しくなり、期待していただいた市民の皆様には、申し訳なく残念に思っております。実に50年にわたり、このまちで暮らし、このまちをこよなく愛し、このまちのために仕事ができたと誇りに思っています。また、これまでお世話になった皆様に対する感謝の気持ちで一杯です。今後、本市が誰もが住みやすい、住み続けたいと願うまち、ひととき魅力が放つまちとして、さらに大きく飛躍していくことを願ってやみません。結び、市民の皆様へ改めて深く感謝を申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。